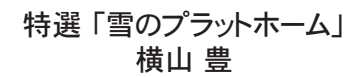
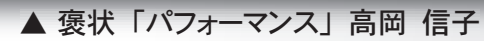
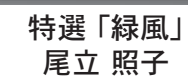


「第20回香美市芸術祭」と「地区文化展」が、9月24日から11月16日にかけて開催され、期間中には文化展のほか、社交ダンス発表会や芸能大会、土佐山田町合唱団定期演奏会などが行われました。



【写真審査会】
（審査員 杉野節子）



【短歌会】（選者・山下 由美子）	
特選	今日一つ齡加へたりいつになく 背筋の伸びる後期高齢
特選	蝸にせかされ野徑を急ぎある 担ぎし鋤のリズムに乗りて
褒状	地に残る盆の踊りをひきつぎて 深く切なき少女らの舞
褒状	「髪も染めカットもしいや」と言いくるる 息が居て今日も吾は助手席に
褒状	秋兆す雲は早無く入道雲の 北東に三つ八月二十日
褒状	帰らざる特攻兵は街並みの 燈籠となり知覧におはす
褒状	再びは会ふことのなき縁なり 退院のひとに高く手を振る
高点賞	目の前のエノコ草の動く様 思ひを止めて見てをりぬ
入選	踊り子は雨けちらして軍隊のよふ 長崎の鐘は響きわたりたり
【俳句会】（選者・山本 呆斎）	
特選	八月や「ビルマ」はすでに消えし国 乾 真紀子
特選	汲む水のりりしき二百十日かな 津田吾燈人
褒状	秋簾火の点きさうな日を受けて 山崎かずみ
褒状	忘却も生きてる証秋暑し 山崎 鈴子
褒状	吹く風に光る稲穂とコンバイン 前田 桂子
褒状	卯の花の逆縁なるもえにしか 塗本 幸利
褒状	いざなぎの里の燈籠流しかな 野村 里史
高点賞	手結港の古き石積み蟬時雨 佐竹 洋子
入選	しぶ柿を雑屋で剥いた黒い指 原 茂

